



月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■塗りつぶしの日 は休館です。

令和6年



Pick Up!

『有元家の「これさえあれば」』 有元葉子/三笠書房/596 7リ

疲れて帰っても「これさえあれば、おいしいごはんを手間なく作って食べられる」アイデアを、本書では紹介しています。いつもの食材で、冷蔵庫のストックで…パパッと作れるレシピを収録。食べきりサイズの手づくりおやつレシピも載っています。シンプルでおいしそうなレシピ満載です！



『人は本に育てられる』

坂東眞理子/幻冬舎/019 ハン

幼少期は面白い本を、中学・高校・大学時代は知識を身につけられる書物を、社会人は日々の読書を習慣に…。77歳の今も教育現場の第一線で活躍する著者が、本を読むことの何ものにも代えられない意義と楽しみを伝える。

『英国の本屋さんの間取り』

清水玲奈/エクスナレッジ/024.3 シミ

世界で最も美しい本屋、運河に浮かぶ船の本屋、小さな読者を大きく育てる店、お風呂もある本の殿堂…。インタビューと間取りのレポートから、英国の本屋を読み解く。写真とイラストが満載。データ:2024年3月現在。

『記憶の深層』

高橋雅延/岩波書店/141.3 効

記憶のしくみを深く知り、上手に活かせば答えはひらめく。人間の創造性が問われる今こそ必要な、科学的エビデンスにもとづく記憶法と学習法のヒントを伝授する。

『千日回峰行』

光永覚道/春秋社/188.4 ミツ 大津 2 階

断食・断水・不眠・不臥の堂入りの行など、比叡山に伝わる超人的な荒行「回峰行」とは何か。千日回峰行を満行し、十二年籠山行を遂行した大阿闍梨が、その全てを語る。

『ブレイクスルー』

カタリン・カリコ/河出書房新社/289.3 カリ

“ふつうの生徒”だった研究者が、世界を救う大発見へ。新型コロナワクチン開発の立役者で、その功績が認められノーベル賞を受賞した科学者、カタリン・カリコの自伝。数々の逆境にも負けず信念を貫いた不屈の半生を綴る。

『京都ものがたりの道』

彬子女王/毎日新聞出版/291.6 ミカ

彬子女王殿下が誘う、歩いて味わう京都。寺町通、四条通、河原町通など、歴史を刻む街並みの魅力を清廉な筆致でつづる。京のまち歩きに役立つ「ちょっと寄り道」や地図も掲載。

『新地政学』

奥山真司[監修]/新星出版社/312.9 オウ

地政学を知ると、世界の姿が見えてくる。地政学で考える日本、アメリカ、ロシア、中国、アジア、中東、ヨーロッパの特徴を、オールカラーのイラストでわかりやすく解説。地政学の基本的な概念も紹介する。

『等身大の定年後』

奥田祥子/光文社/366.2 オウ

再雇用、転職、フリーランス、NPO 法人等での社会貢献活動…。セカンドキャリアを切り開くために孤軍奮闘しているシニアの男女への長期間に及ぶ継続インタビューをもとに、あるがままの<等身大>の定年後を浮き彫りにする。

『老後ひとり難民』

沢村香苗/幻冬舎/367.7 サウ

配偶者や子どもなどの「身元保証人」がいない高齢者は、入院、施設への入居を断られることも多く、無縁仏になるケースも急増。このようなトラブルを回避する方法と、どうすれば安心して老後を送れるのかについて解説する。

『島はどうしてできるのか』

前野深/講談社/455.8 マエ

地球を知る格好の場所である、多様な島々の島々。誕生を目撃した西之島、大量の軽石が漂流した福徳岡ノ場などのトピックの科学的解明に挑みつつ、火山学者が世界各地の島々のダイナミックな地質学ストーリーを語る。

『ファーブルと日本人』

養老孟司/かや書房/486 ヨウ

母国フランスよりも日本で親しまれたファーブル。長年の友人である養老孟司と、ファーブル昆虫館館長・奥本大三郎が、ファーブルを切り口に、考え方、教育、生き方、日本人、文化、環境問題、科学について語り尽くす。

『オトナのビーズ刺繍ブローチ』

MON PARURE/主婦と生活社/594.2 モン

トランプ、ねこ、サンゴ、アルファベット…。「COLORFUL&PLAYFUL」をテーマに、ビーズの組み合わせによって様々な表情をなす、ブローチをはじめとしたアクセサリーの作り方を紹介する。原寸型紙付き。

『季節のゼリースイーツ』

大越郷子/山と溪谷社/596.6 オオ

身近な食材をゼラチン、寒天、アガーで固めるだけで、スペシャルなスイーツに生まれ変わる。リーズナブルで簡単なのに、色が綺麗で透明感があっておしゃれなゼリースイーツのレシピを季節ごとに紹介する。

『ビジュアルで学ぶ麻を知る図鑑』

セルジュ・シャール/グラフィック社/618.2 シヤ

かつては生活に欠かせない農作物であったが、現代ではドラッグのイメージが強い「大麻」。誤解の多い大麻の歴史や文化的側面、暮らしの中でどのように活用され、どのように人びとの生活に根付いてきたのかを紹介する。

『中世修道院の庭から』

ミシェル・ポーヴェ/グラフィック社/622.3 ホウ

中世ヨーロッパの修道院の心躍る軌跡や、現代に通じる庭づくりの奥深い魅力を、美しい彩色写本や博物画とともにたどる。修道院で栽培された、25種類の植物のファクトファイルも収録する。

『ガラス図鑑』

岡崎孝俊[監修]/平凡社/751.5 オカ

美しく繊細なきらめき…ガラスの世界を知るための入門書。ガラスのはじまりから、名品、技法、世界を代表するブランド、お手入れ方法まで、ガラス工芸のエッセンスを豊富なビジュアルとともに総論的に解説する。用語集も収録。

『テーブル茶道』

富田尚子/日本実業出版社/791 トミ

茶道の本質を取り入れながらも、現代の生活スタイルに合わせたテーブル茶道の楽しみ方や作法を紹介。キッチンやダイニングテーブルで、軽やかに豊かにお茶の心を再現できる。お点前の動画を視聴できる QR コード付き。

『ことばが変われば社会が変わる』

中村桃子/筑摩書房/810.1 ナカ

「セクハラ」ということばは社会の何を変えた？ 流行語「女子」がもたらしたものは？ 新しいことばの普及や流行語が起こす社会変化に注目し、ことばが社会を変化させるメカニズムを明らかにする。

『サンスクリット入門』

赤松明彦/中央公論新社/829.8 アカ

紀元前4世紀に文法学者パーニが完成させた言語「サンスクリット」は、インド思想や仏伝などの記述に使われてきた。「マヌ法典」などの名文を紹介しながら、50のレッスンで文法を解説し、サンスクリットの世界に誘う。

『あなたが子どもだったころ』

河合雄雄/中央公論新社/914.6 カワ 文庫

<心の問題>を見つめ続けてきた著者が、鶴見俊輔、田辺聖子、谷川俊太郎ら、各界を代表する16人とユニークな子ども時代を語り合う。「あなたが子どもだったころ」と「子ども力がいっぱい」の合本。

『義父母の介護』

村井理子/新潮社/916 ムラ

義母が認知症となり、義父も脳梗塞で倒れて、仕事と家事を抱えての介護がスタート。やがて体力と気力は限界に…。介護は妻の義務なのか？ 夫の出番は？ 最初の一步から悪徳業者との闘いまで、超リアルな介護奮闘記。

『邪悪なる大蛇』

ピエール・ルメートル/文藝春秋/953 ルメ

63歳の殺し屋マティルドに認知症が少しずつ忍び寄りつつあった。それに気づいたのは、彼女に殺しを依頼している戦中からの同志アンリ。一方マティルドの中では、かつて抱いていたアンリへの恋心が甦り、暴走は加速してゆく！

『わたしの知る花』

町田そのこ/中央公論新社/F マチ

犯罪者だと町で噂されていた老人が、孤独死した。部屋に残っていたのは、彼が手ずから咲かせた綺麗な《花》。生前の老人と知り合っていた女子高生・安珠は、彼のことを調べるうちに、意外な過去を知ることになり…。

『籠の中のふたり』

薬丸岳/双葉社/F ヤク

父親を亡くしたばかりの弁護士・村瀬亮彦は、傷害致死事件を起こした従兄弟の連見亮介の身元引受人となり、2人で暮らし始める。他人と深く関わることを避けてきた亮彦だったが…。『小説推理』掲載を改題、加筆・修正。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。

